

消毒薬等の希釈方法について

(市販の塩素系漂白剤(殺菌剤)の使用法)

1 有効塩素濃度

クロラックス 6%

ピューラックス 6%

ピューラックス10 10%

ハイター(花王) 5%

(キッチンハイターも有効塩素濃度は同じ、洗浄効果目的として界面活性剤を含む)

キッチンキレイキレイ除菌&漂白(ライオン) 6%

ミルトン 1%

ピュア 1%

その他業務用では12%のものがある。

2 希釈液作成方法

計算方法：濃度0.1%の消毒液の作成は有効塩素濃度×10倍希釈

5%なら $5 \times 10 \Rightarrow 50$ 倍希釈、

12%なら $12 \times 10 \Rightarrow 120$ 倍希釈

濃度0.02%の消毒液の作成は有効塩素濃度×50倍希釈

5%なら $5 \times 50 \Rightarrow 250$ 倍希釈

12%なら $12 \times 50 \Rightarrow 600$ 倍希釈

ハイター(有効塩素濃度5%)の場合

濃度	0.02% (250倍)	0.1% (50倍)
1 リットル	4 ml	20 ml
2 リットル	8 ml	40 ml
3 リットル	12 ml	60 ml
5 リットル	20 ml	100 ml
10 リットル	40 ml	200 ml

3 注意点

- ・ 温度・直射日光により濃度低下を起こすため、長期保存は避け冷暗所に保存する。
- ・ 使用の際は、絶対に酸と混合しない。(有毒の塩素ガスが発生する)
- ・ アルミ・銀・鉄等の金属はさびが発生し、色柄物は漂白されるので注意する。
- ・ 目に入った場合、大量の水で洗い流し医師の手当てを受ける。